

II

1. 単元名 「打ち上げ花火をあげよう」 3 学年

2. 子どもの実態

同 I

3. 目指す子どもの姿

本題材は、3年生から使用する習字道具（墨液、筆）を使つての表現活動である。そこに、わんぱう（白抜き剤）を活用すると、より白が際立ち表現の幅が広がる。水彩絵の具で色をつけ足すことで、黒の世界に彩りを加えることもできる。白と黒の美しさを味わったり、黒の世界に浮かび上がる様々な色の美しさを感じたりしてほしい。題材を「花火」とし、夜空に浮かび上がる花火を自分なりの主題をもって表現し、友だちの打ち上げた花火と組み合わせることで、大きな花火大会を作り上げることもできる。本題材を通して、絵具だけの表現ではなく、身近な墨を使った表現の面白さや楽しさ、美しさを感じてほしい。

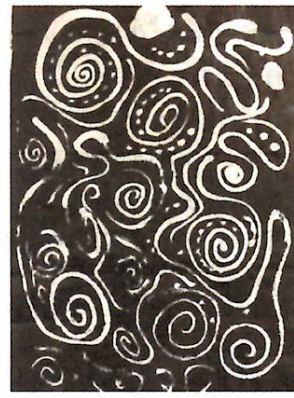
3. コロナによる休校により見えてきた題材や課題の在り方について

3年生にとって身近になった墨を使って表現できる。（わんぱうはあまり身近ではないが・・・）

休校中は直接指導したり、作品に対する子どもの考えを聞いたりすることができない。完成した作品も大切だが、作品ができるまでの過程も大事にしたい。子どもの主題を明確にし、完成に至るまでの思考の流れ・プロセスがあとになってもわかるよう、ワークシートや作品カードなどの工夫が必要だと考える。

<参考作品>

白黒 Ver



色付き Ver

